建築計画に関する主な方向性

1 敷地Aについて

- 複合施設の延床面積は、2,000㎡程度とする。
- ・ 2階建て複合施設に、「ひの児童館」と「日野図書館」を配置する。
 - ✓ サイレントコントロールの観点から、児童館と図書館は別フロアとする。
 - ✓ 主なフロア分けとして、1階に図書館、2階に児童館を配置する。
 - ✓ 2階配置となる児童館の専用動線を確保するため、デッキと外部階段を設置する。
 - ✓ デッキの軒下部分を空間として活用することを検討する。
- 両施設は、共用部(共用貸室・オープンスペース)との連携により、各機能を充実させる。
- オープンスペースの創出により、共用貸室を減らし、両施設の専用諸室を増やせないかを検討する。
- ・ 敷地Bの複合施設との相互利用促進及び多様な交流を誘うため、以下の機能を敷地Aに配置する
 - ① 陶芸窯(実習・保管を含む)※別棟可
 - ② 調理実習室
 - **③ 保育室**
 - 4 利用者用貸しストレージ

2 敷地Bについて

- 2階建て複合施設に、「中央公民館」と「日野宿交流館」を配置する。
- 複合施設の延床面積は、1,000㎡程度とする。
- 主なフロア分けとして、1階に交流館、2階に公民館を配置する。
- 交流館は甲州街道沿いに配置する。
- 地元自治会の集会機能及び各種イベント用として、1階に多目的室を配置する。
- 両施設は、共用部(共用貸室・オープンスペース)との連携により、各機能を充実させる。

第6回検討委員会でのご意見・課題提起

- 図書館と児童館のフロアは分けるべき。
- 子どもたちがのびのび遊べる環境を維持すべき。
- 子どもたちが外に出やすいように、建物外から直接アクセスできるようにすればよい







- 貸室なども含めて、皆がコミュニケーションを取れる場であってほしい
- 子供たちや高齢の方も使ってうまく融合できるような使い方にしていくことが大切

課題解決に向けた対応方針

建築計画に関する主な方向性

3 敷地Cについて

- 建築はせず、駐車場と歩行者空間を配置する。
- 駐車場は、各種イベントに活用できる設えとする。
- 「日野宿本陣」の駐車場機能を敷地Cに移設することを検討する。
- 歩行者空間は、敷地Aと敷地Bの回遊性及び敷地Aと敷地Cの連続性が創出される設えとする。

第6回検討委員会でのご意見・課題提起

• 音楽室の面積が狭く、多人数での利用に対応 できないのではないか。

第6回検討委員会でのご意見・ 課題提起

敷地B(公民館)に職員を 配置すべき

4 全体について

- 防音対応室を、**敷地Aに隣接で2室以上(音楽室とは別)、敷地Bに1室以上**配置する。
- 事務室は、複合施設管理者となる生涯学習支援課の職員が、敷地Aに6人、敷地Bに8人が配置できる空間とする。なお、今後、フリーアドレス等の可能性を検討する。
- 共用部(共用貸室・オープンスペース)は、子どものニーズへの対応として、談話、喫食、自習などが可能な空間とする。
- 延床面積は、計3,120㎡以下(縮減目標マイナス16%)を目指す。

第6回検討委員会でのご意見・課題提起

- 色々なことができるようなスペースの検討を全体 的にしていければ良い。
- 子供たちや高齢の方も使ってうまく融合できるような使い方にしていくことが大切

フロア構成の参考:からきだ菖蒲館(多摩市)

➤図書館・児童館・コミュニティセンターの2F複合施設

▶1F:図書館、2F:児童館・コミュニティセンター

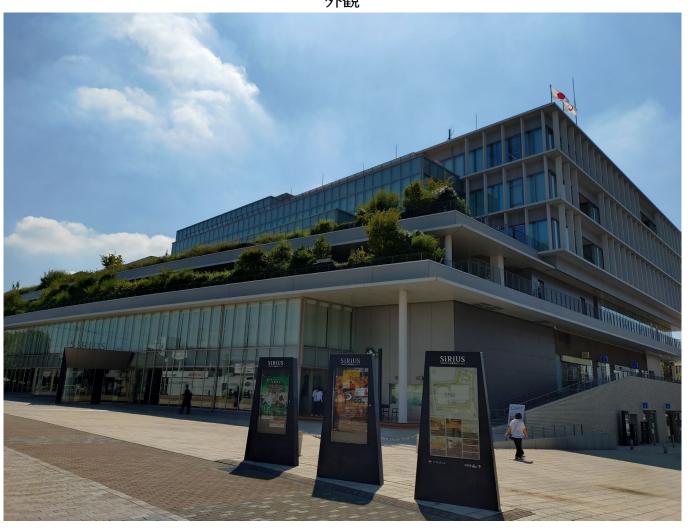
➤延床面積: 2,602m³、整備: 平成23年



フロア構成の参考:文化創造拠点シリウス(大和市)

- ➤図書館・芸術文化ホール・生涯学習センター・屋内こども広場を中心と した6F複合施設
- ▶1F:芸術文化ホール・図書館、2F:図書館、3F:こども広場・こども図書館、4~5F:図書館、6F:生涯学習センター
- ➤延床面積:22,904m³、整備:平成28年

外観



フロア構成の参考:サンコーテクノプラザ(流山市)

▶南流山地域図書館・南流山児童センターの4F複合施設

▶1F:図書館、2F:児童センター、3F:児童向け図書館、

4F:図書館

➤延床面積: 2,953m³、整備: 令和4年





デザインの参考:日野本町地区の風景(日野市)

日野第一小学校



あいの道



親水広場



大昌寺参道

